

記 者 提 供 資 料
2018年(平成30年)7月26日
教育委員会事務局 児童生徒支援課 担当：西口・公文 918-5096 (内線 3560)

「“いじめストップあかし” こども会議2018」を開催します

2008年(平成20年)に採択された「“いじめストップあかし” こども宣言」(以下、「こども宣言」)を受けて、各学校では、児童会・生徒会が様々ないじめ問題を解消するための取組を自主的に実施しています。

「こども会議2018」では、現在の「こども宣言」を改定し、今のこどもたちをとりまく状況にふさわしい新「こども宣言」を採択することを目指します。

また、それを市内の学校へ発信することで、さらなる「“いじめストップあかし”」を推進します。

- 1 日 時 2018年(平成30年)8月1日(水)13:00~15:00(受付12:30~)
- 2 会 場 明石市立勤労福祉会館 2階 多目的ホール
明石市相生町2丁目7-12 TEL 918-5422
- 3 主 催 明石市教育委員会
- 4 参 加 者 市内小学校児童会(各2名)・中学校生徒会(各2名) 84名
議長・副議長担当校(各1名) 2名
市内小中学校児童会・生徒会担当教職員(各1名) 43名
【内訳：市立小・中・養護学校・神大附属小 計43校】
- 5 サポーター NPO法人生涯学習サポート兵庫 竹内 茂雄 先生
児童生徒支援課 指導主事
- 6 内 容 (1) 議長(中学生)・副議長(小学生)のあいさつ
(2) 教育長からのあいさつ
(3) サポーターの紹介
(4) グループでの協議・発表
(5) 新しい「“いじめストップあかし” こども宣言」の提案・採択
(6) 新しい「“いじめストップあかし” こども宣言」の唱和
(7) 児童生徒支援課長からのあいさつ
(8) 議長・副議長のあいさつ

『いじめストップあかし』を主催！！(No.1)

8月2日に市内全小・中学校の児童会・生徒会の代表85名が明石市立勤労福祉会館多目的ホールに集い、架空の事例に基づいて、「お互いがわかりあえるためにはどうしたらよいか」「いじめをなくすためにはどういったことができるのか」について、意見交換をしました。(今回が10回目の開催)

①司会を務める議長・副議長



＜議長＞
望海中 生徒会長
鳴瀬 あいさん

＜副議長＞
大観小 児童会役員
中野 開友さん

②心のコミュニケーション



目を合わせて、
にこっ、こんにちは
よろしく！
ハイタッチ♡



ほとんどの人がお互いに初めて出会うという緊張感のある雰囲気の中で、それぞれの参加者は積極的に会場内を移動して、ハイタッチをする事で緊張している心をほぐし、明るく話しやすい雰囲気を作り、次のグループ協議へと移りました。



協議テーマ「ある中学校での出来事です」 同じ部活動の先輩タカシくんと後輩マサシくんのはなし

一年生のマサシがお腹を押さえて苦しそうに廊下を歩いていました。すれ違った先生が様子に気づき声をかけました。「どうしたの？何かあった？うつむいたまま何も答えないマサシは突然泣き出しました。相談室で話を聞いた先生は「その話は内緒にできないな。それは暴力だよ。」マサシを蹴ったのは部活動の先輩のタカシでした。先生はタカシを見つけて声をかけました。「話がある」

「たいさん」と「たこさん」チームに分かれて「タカシくんとマサシくんの気持ちはどうだったのかな？」「わかりあえるようになるにはどうすればいいのかな？」とグループ内で協議しました。

各自が自分の意見を書いた付箋を大きな紙に貼っていき、次に、同じ意見を集約するために、リーダーがみんなに確認しながら付箋を貼り直す作業をしました。小中学校の垣根を越えて取り組むアイデアを整理し、意見をまとめていく様子が見られました。

③隣り合った中学校区でグループ協議(前半)



『いじめストップあかし』を主催!! (No.2)

④グループ協議 (後半)

【マサシの気持ち】 抜粋

- ・もう殴られたくない
- ・なかなか言い出せなくてつらかった
- ・先輩に殴られてつらい悲しい気持ち
- ・自分にも悪いところがあった
- ・先生に言う原因となったこともいまいけなくなる
- ・いじめられているということを知られたくない おおごとにしたくない
- ・お腹も痛いけど、先生が声をかけてくれてよかった
- ・部活に行きたくない
- ・どうして殴られたのか聞いてほしかった
- ・起こったことを内緒にしたいのに、先生は「秘密にしない」と言っていてイヤだ
- ・家族に知られたくない



【タカシの気持ち】 抜粋

- ・マサシだって悪いところがあるのに、自分だけが悪いようにされて悔しい
- ・いい先輩になりたい
- ・マサシの気持ちだけでなく自分の気持ちも聞いて欲しい 殴ったのには理由がある
- ・いきなり「正直に話して」と言われても、話にくい
- ・悪い事をした自覚がある
- ・殴ったけど尊敬されたいと思っている
- ・自分の気持ちを人にはさざりと言えないから、後輩に手を出してしまった
- ・今から謝れば、間に合うかな でもあいつが悪い
- ・これくらいせなあいつはわからへん おれはなにも悪い事をしてない
- ・マサシが悪いのに、なんでおれが怒られるねん
- ・マサシが先に悪い事をした
- ・後輩からバカにされてイヤ
- ・マサシも謝って欲しい



⑤今日の活動の振り返り

【どうしたらいいだろう】 抜粋

- ・マサシは自分が悪いと強く思っているので、えらい でも、家族にはちゃんと話すことは大事だと思う
- ・自分たちの言いたいことを優しい言葉で言い合う
- ・それぞれの気持ちを聞き合う
- ・お互いを認め合う
- ・お互いの気持ちをわかってあげ、二人の気持ちを落ち着かせてあげる
- ・お互いの気持ちを話させる
- ・タカシ…殴らない マサシ…バカにしない
- ・相手の気持ちを考える 言葉、行動に気をつける
- ・話を聞いて相談に乗ってくれる人が必要だと思う
- ・「実は尊敬されたい」という気持ちを伝える
- ・マサシはいじめられそう、正直にしっかりと自分の気持ちを伝えていかなければならぬ。それが自由に言えるような環境をつくらなければならないと思う



⑥『いじめストップあかし』子ども宣言」唱和

- 一、SOSのサインを見逃しません
- 一、自分の意見をしっかりと持ち 周りに左右されません
- 一、いじめている人に注意をできる勇気を持ちます
- 一、人の気持ちを考え言葉を選びます
- 一、相手の良いところを見つけていきます
- 一、一人ひとりの存在を認めることのできる環境を作っていきます
- 一、いじめについて自分たちで真剣に考えていきます
- 一、いじめを許さない心を持ち続けいじめをなくすことを誓います



⑦議長・副議長のまとめ

市内の各学校では、いじめをなくし、思いやりあふれる学校にするために児童会・生徒会が中心となって、話し合いや様々な取組が行われています。私たちが自主的に活動し、支え合う仲間をつくっていくことが何よりも大切です。

今日ここに集まった私たちが、「こども会議2017」で得たことを活かし、いじめのない明るい学校をつくっていく中心になっていきます。

